

2025年度 法学部 編入学・学士入学試験問題

科目名

論文(社会科学)

自由貿易に関する以下の2問について、両方ともそれぞれ解答しなさい。

問1 19世紀を生きた経済学者リカードは、「国際分業を行い、各国が自由貿易を行えば、分業の利益により経済厚生が増す」という比較生産費説を唱えた。いま、A国とB国からなる世界があり、A国には2000人の労働力が存在し、B国には5000人の労働力が存在するとしよう。A国ではXという財を1単位生産するのに2人を必要とし、Yという財を1単位生産するのに4人を必要とする。B国ではXという財を1単位生産するのに10人を必要とし、Yという財を1単位生産するのに5人を必要とする。A国はB国に比べて財Xと財Yの両方をより効率的に生産できるにもかかわらず、なぜ国際分業したうえで自由貿易をするとB国だけでなくA国も豊かになれるといえるのか。上の数値例を用いて具体的に説明しなさい。

問2 リカードの比較生産費説の通り、国際分業したうえで自由貿易を行えば、自由貿易に参加するどの国の経済厚生も保護貿易の状態に比べて高くなるにもかかわらず、国際社会において自由貿易はなかなか実現しない。国内政治では、往々にして、自由貿易を求める勢力よりも保護貿易を求める勢力の政治力のほうが大きくなりがちだからである。では、それはなぜなのか。「集合行為問題」という観点から説明しなさい。

2025年度 法学部 編入学・学士入学試験問題

科目名

論文(法学全般)

第1問及び第2問に解答しなさい。

第1問

民事訴訟において勝訴当事者の弁護士費用を敗訴当事者が負担するという制度を導入すべきであるという意見について、(1)賛成の立場、(2)反対の立場、それぞれの理由づけを2つ以上示したうえで、(3)あなたの見解を理由を付して述べなさい。

第2問

10歳のAには父B及び母Cがいる。AがDの不法行為によって即死した場合に、B及びCはAのDに対する損害賠償請求権を相続するか。逸失利益の賠償と精神的損害の賠償(慰謝料)とに分けつつ、(1)相続を肯定する立場、(2)相続を否定する立場、それぞれの理由づけを2つ以上示したうえで、(3)あなたの見解を理由を付して述べなさい。その際、必要に応じて、《参照条文》も考慮しなさい。

《参照条文》

(不法行為による損害賠償)

民法709条 故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

(財産以外の損害の賠償)

民法710条 他人の身体、自由若しくは名誉を侵害した場合又は他人の財産権を侵害した場合のいずれであるかを問わず、前条の規定により損害賠償の責任を負う者は、財産以外の損害に対しても、その賠償をしなければならない。

(近親者に対する損害の賠償)

民法711条 他人の生命を侵害した者は、被害者の父母、配偶者及び子に対しては、その財産権が侵害されなかった場合においても、損害の賠償をしなければならない。

(相続開始の原因)

民法882条 相続は、死亡によって開始する。

(子及びその代襲者等の相続権)

民法887条 被相続人の子は、相続人となる。

2 略

3 略

(直系尊属及び兄弟姉妹の相続権)

民法889条 次に掲げる者は、第887条の規定により相続人となるべき者がいない場合には、次に掲げる順序の順位に従って相続人となる。

一 被相続人の直系尊属。ただし、親等の異なる者の間では、その近い者を先にする。

二 被相続人の兄弟姉妹

2 第887条第2項の規定は、前項第二号の場合について準用する。

(相続の一般効力)

民法896条 相続人は、相続開始の時から、被相続人の財産に属した一切の権利義務を承継する。ただし、被相続人の一身に専属したものは、この限りでない。